

令和6年度 後期学校評価結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和6年度後期学校評価(12月)の結果がまとまりましたのでご報告いたします。評価結果は、本校の目指す児童像「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」についてそれぞれ評価項目を設け、A・B・Cの3段階で評価しております。目指す児童像ごとに、分析と改善策をまとめました。今回の評価結果を受け、これまでの取組を見直し、よりよい学校教育を目指していきます。保護者の皆様には、アンケートを通じて、様々なご意見等をいただきました。今後の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

肯定的な評価の割合が
A 90%以上 B 90%未満～70%以上 C 70%未満

<学習 かしこい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
学習規律	学習規律の徹底に努めている	教員	A	B
	チャイムスタート、あいさつ、姿勢等をしっかり守っている	児童	B	
	基本的な学習習慣が身についている	保護者	B	
学習内容の理解	ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている。	教員	A	B
	授業が分かりやすく、「できた」「分かった」と思うことがよくある	児童	B	
	子どもは、授業の内容をしっかり理解している	保護者	B	
学力	深めの発問や適用問題等で授業の後半部分を充実させ、学力の定着を図る	教員	B	B
	これまで学習してきたことが、しっかり身に付いていると思う	児童	B	
	子どもには、その学年に必要な学力が身に付いていると思う	保護者	B	
家庭学習	家庭学習の充実に向け、工夫や努力を重ねている	教員	A	C
	家で、学年×10分間の勉強をしている	児童	C	
	子どもは、家庭で、学年×10分間の勉強をしている	保護者	C	

分析・考察

<学習規律>

- 教員は常に意識して学習規律の定着に努めている。その結果、児童の85%が「学習規律をしっかりと守ることができた」と回答している。今後も、個別に声をかけたり、できている児童の姿を全体に広めたりして、学習規律が徹底するよう取り組んでいく。

<学習内容の理解>

- ねらいを明確にした授業を教員は心がけている。児童の肯定的評価は89%で、児童の多くが授業で「わかった」「できた」という達成感を感じていると思われる。今後も、児童の学習の様子を見取り、個々への支援も行いながら、一層ねらいを明確にした授業の実践を目指していく。

<学力>

- 児童・保護者ともに、肯定的評価が80%を超えており、概ね基礎的な学力は定着していると捉えている。しかし、学力が十分身に付いていないと捉えている児童もいることから、個別に適宜指導し、児童全体の学力定着を図っていく。基礎学力の定着に加えて、今後も、深めの発問を意識して行い、適用問題を取り組ませるなど授業の後半部分を充実させ、確かな学力の定着を図る。

<家庭学習>

- 教員は家庭学習が定着・充実するよう毎日宿題を出し、指導や声かけをしている。しかし、教員と児童には、家庭学習に対する意識の差があり、家庭学習が定着していないところも見られる。引き続き、家庭学習の定着を図る「クロステン」の取組について、お便りやメール等でお知らせし、保護者の方にご協力いただき、学校と家庭が連携し家庭学習の定着に取り組んでいく。

<生徒指導 やさしい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
自己肯定感	自分によさに気づき、自分自身を大切にしようする児童の育成	教員	B	B
	自分にはよいところがあると思う	児童	B	
	子どもは、自己肯定感が高い	保護者	B	
いじめ	子ども達は、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている	教員	A	A
		児童	B	
		保護者	A	
やさしさ思いやり	子ども達は、自分から進んであいさつしている	教員	B	B
	先生、友達、地域の人に自分から明るいあいさつをしている	児童	B	
	子どもは、家族や地域の方に対して、自分からあいさつしている	保護者	B	
	友達にやさしくし、困っている友達がいると声をかけ、助けようとしている	教員	B	A
		児童	A	
		保護者	A	
	子ども達は、学校で楽しく過ごしている	教員	A	A
		児童	B	
		保護者	A	

分析・考察

<自己肯定感>

- ・前期評価と比較して、児童と保護者の評価は高くなった。(児童：3ポイントUP、保護者：2ポイントUP) 今後も、子供たちがチャレンジしている姿や、いつも当たり前にできていること、また、できていない場合でも、「ここまで頑張れたことが成長だよ」と、頑張っている過程を認め・褒めるなど、常に意識して自己肯定感を高めていく。

<いじめ>

- ・学校は、未然防止、早期発見・早期対応を心がけ、いじめによる被害を最小限に抑えようと努力している。毎月の友達アンケートや日常的な観察などにより、子供が困っていることを発見し、早期に対応している。いじめは、いつでもどこでも起こり得るという意識を持ち、引き続き、子供の変化を見逃さないよう、全教職員で連携しながら、子供の様子を注意深く見守っていく。

<やさしさ思いやり>

- ・子供たちはあいさつをしていると感じている(児童：83%)が、教員や保護者からみると、まだ自分からあいさつができていないと感じている(教員：74%、保護者：70%)。あいさつすることを意識させる生活目標の期間だけではなく、その都度声をかけることで、あいさつをする意識を高めていく。
- ・友達に対する優しさは、児童・保護者ともにA評価であった。引き続き、困っている人にやさしく関わっている時には、その都度認めて周囲に広めていく。
- ・学校では、大多数の児童が友達と楽しく過ごしている。しかし、一部であれ、楽しく過ごしていない児童がいることから、児童の様子を一層注意深く見守っていく。

<特別活動 たくましい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
体育的な取組	自ら運動に取り組む児童が育っている	教員	B	B
	自分から進んで運動に取り組んでいる	児童	B	
自主的な行動	より良い生活を目指し、自ら進んで行動している	教員	B	B
		児童	B	

分析・考察

<体育的な取組>

- ・なわとびや持久走など学校全体で取り組む期間を設けたり、運動の楽しさや異学年交流のよさを味わえる取組を体育委員会や縦割り班活動で企画したりして、自ら進んで運動する意識を高めていく。

<自主的な行動>

- ・前期評価と比較して、児童の評価は高くなった。（児童：4ポイントUP）自主的な行動が増えたと実感している児童が多い。今後も、自分から進んでよい行動をしている児童を認め、褒めて全体に広めていく。

<保護者自由記述欄の中から>

- ・先生に褒められることが、自信につながっているようです。楽しく過ごすことができて嬉しいです。ありがとうございます。
- ・ジオ学習の交流会を見に行きました。どの学校も良かったですが、明光小学生が1番良く出来ていて地域との関わりも感じ、守り続けて欲しいと思いました。
- ・子供が心から「学校へ行きたい！」と笑顔で朝の準備をする姿で充実して通っていることがわかります。ありがとうございます。
- ・夏休み中の学校プール開放を希望します。特に低学年はクレインに行けないので、夏休み中の遊び場と居場所としてプールを復活してほしいです。
→暑さ指数（WBGT）が31℃以上の場合は、熱中症予防のため、子供の運動を中止しています。夏休み中は屋外の暑さ指数が31℃以上の日が多いことや、監視される保護者の方の健康等を考慮して、今年度、市内すべての小学校では、プール開放を行いませんでした。
- ・教室や廊下など床にゴミが目につき、歩いているとザラザラした感覚を感じるので、お掃除仕上がりチェックをされた方が良いかと思います。
→今年度から、掃除は週2回、朝の時間にしています。掃除の反省会の時に担当教員がチェックを行っておりますが、曜日や時間帯によって、不十分に思われることがあるかもしれません。また、校務士が適宜廊下等の清掃を行っています。
- ・地震などの災害やJアラートが登下校時に発生した場合の個人の対処の仕方の指導はされていますか？
→避難訓練（地震）等の際に、校内・登下校時・放課後等の対処の仕方について指導しています。校外や登下校中も想定され、是非ご家庭でもお話し下さい。